

企業スポット

(株)BJU

コミュニケーションツールで医療の安心安全に貢献

【TDB企業コード：173006884】 法人番号：4020001096453

(株)BJUは、設立以来「医療情報システム」「ERPシステム」のITソリューション、サービスを提供している。昨年からはオリジナルプロダクトの開発提供を開始している。

まずは患者さんとのコミュニケーションから現在力を入れているプロダクトは、外国人患者とのコミュニケーションを想定した医療機関向けのタブレット端末「翻訳コミュニケーションサービス」。言語を選び、受付、看護、検査、レントゲン撮影など場面に合わせたページを選択すると、その場面に対応した指示や質問を選択した言語で読み上げる。質問の場合、相手に端末操作を促せば返答をもらうこともできる。現在、外国人患者とのコミュニケーションは自動翻訳機を介して行うことが多いが、通信や処理で翻訳に時間がかかり、また誤訳の心配もあった。「翻訳コミュニケーションサービス」ではあらかじめテンプレートの会話を端末に落とし込んでいるため通信・処理の時間もかからず、齟齬も少ない。テンプレートにない会話をしたい際は、同じ端末でオンラインの翻訳アプリを使用することも可能。またタブレット端末であるため、シェーマ(身体マップ)や病院の地図を表示し直接書き込むことや、クレジットカードの電子サインのように承諾のサインを貰うこともできる。

今年は東京オリンピック・パラリンピックによって多くのインバウンドが見込まれる。厚生労働省の指針で外国人を受け入れ可能な病院を公表しているが、英語や中国語が話せる人が1人だけのケースもあり、常駐しているとも限らない。「翻訳コミュニケーションサービス」を医療機関が導入することで急患の外国人にも適切な処置がとれる。また、言語で日本語を選択すれば、目や耳に障がいを抱えた患者ともコミュニケーションがとりやすくなる。病院は規模を問わず、健診センターでも活用の機会があると考えている。

導入に関しては当社への問合せ、または代理店経由で可能。言語やコンテンツによって費用は変わってくる。基本のパッケージもあるが、病

院ごとにカスタマイズも可能である。

一安心・安全を第一に考えた事業展開を

当社は設立当初からシステムの受託開発を手掛けてきたが、2019年からは新たな柱としてオリジナルプロダクトの提供を開始した。「翻訳コミュニケーションサービス」

以外にも、ビーコンで人や物、書類などの位置情報が確認出来る「ロケーションマネジメント」や、電子カルテなど病院向けネットワークのセキュリティ脆弱性を診断する「ネットワークセキュリティ診断サービス」など5つのプロダクトを展開する。いずれも現在の医療機関の業務の補完となり、医療機関・患者双方が安心安全な環境づくりに貢献できればと考えている。また自社プロダクトによって、当社社員も自分たちの製品が医療機関で直接役に立っているという実感を持てるため、会社への想いや働きがいが増せば品質の向上にも繋がる。

社内では健康経営に取り組んでいる。たとえば、インフルエンザ予防接種の補助金を社員はもちろん、その家族にも支給している。また、健康診断後の二次検査への支援も検討している。

設立以来、医療に貢献したいという想いを貫いてきた当社。近い将来、皆さんが利用する病院でも「翻訳コミュニケーションサービス」が活躍しているかもしれない。



「ITで医療に貢献したい」
渡邊公二代表

株式会社BJU

本社 横浜市神奈川区反町2-15-14
ヒルトップ反町6階

代表者 渡邊 公二 氏

電話番号 045-594-6800

資本金 2000万円

設立 2012年(平成24年)7月

営業種目 システム開発、保守、販売など